

# 防草カットシール施工要領書

平成 27 年 3 月



エムケービルド株式会社

適応条件

| 項目       | 適用基準                  |
|----------|-----------------------|
| 用途       | アスファルトとコンクリート継目部に生える草 |
| 自然条件     | 降雨、降雪時は施工不可能          |
| 路面温度施工条件 | 4℃以上                  |
| 路面温度条件   | -22℃～55℃              |

調査 目視調査から評価

目視調査でアスファルトとコンクリート継目部に雑草が発生している場合、雑草が舗装破壊になると、察知した場合、路面性状調査を実施し、詳細を把握する。

材料 1. ポリフレックス#1

| 材料名       | 荷姿        |
|-----------|-----------|
| ポリフレックス#1 | 13.6 kg／箱 |

\*この材料と容器の廃棄は有害特別廃棄物取集場所に処分する。

\*保管は1年間

\*雨に濡れないよう、製品にシートをかけてください。

2. プライマー プライマーは、「アスファルトプライマー」又は、同等品以上とする。

| 材料名         | 荷姿    |
|-------------|-------|
| アスファルトプライマー | 1 ㍒／缶 |

\*保管は凍結させないこと。保管温度は4℃～37℃

品質管理

| 項目           | 基準値                   | ASTM 規格    | 試験 |
|--------------|-----------------------|------------|----|
| コーン針入度       | 5mm～7mm               | ASTM D5329 |    |
| 弾性度          | 40%以上                 | ASTM D5329 |    |
| 軟化点          | 88℃以上                 | ASTM D36   |    |
| 比重           | 1.2                   | ASTM D2729 |    |
| 伸度(25℃)      | 30 cm以上               | ASTM D113  |    |
| 引張接着性        | 500%以上                | ASTM D5329 |    |
| 流動性 60℃/5 時間 | 3mm 以下                | ASTM D5329 |    |
| 折り曲げ性        | -18℃にて折り曲けても割れが生じません。 | ASTM D3111 |    |

日常施工温度管理

| 項目             | 基準値       | 備考 |
|----------------|-----------|----|
| 路面温度           | 4℃以上      |    |
| ポリフレックス#1 加熱温度 | 193℃～204℃ |    |
| 骨材散布する際の表面温度   | 93℃～121℃  |    |
| 交通開放           | 40℃以下     |    |

施工機械

1. 除草機械 ビリーゴート

| ビリーゴート全体写真  | 刃の写真   |
|---|--|
|  |  |

## 2. 路面切削及び清掃器具

| 路面切削器具  | 清掃器具   |
|---|--|
|  |  |

## 3. 溶解釜

| 溶解釜   | 溶解釜   |
|---|---|
|  <p>スーパーショット 60</p> |  <p>EZ メルター-500型</p> |

## 4. 工具

| 非接触赤外線温度計   | コテ  |
|---|---|
|  |  |

その他

- \*消火器
- \*トーチバーナー
- \*プロパンガス
- \*手袋
- \*水

## 施工方法

|                |  |
|----------------|--|
| 準備工            | <ul style="list-style-type: none"><li>*交通規制</li><li>*安全衛生朝礼</li><li>*使用機械前使用点検</li><li>*溶解釜にポリフレックス#1 を入れ溶解開始</li></ul>  |
| 除草工            | <ul style="list-style-type: none"><li>*ビリーゴートを使い除草する。</li></ul>  |
| 切削工及び清掃工       | <ul style="list-style-type: none"><li>*しっかりと溝を作り、根抜きを行う。しっかりと乾燥しブラシで清掃し、掃除機で砂などを吸い取る。</li></ul>  |
| アスファルトプライマー塗布工 | <ul style="list-style-type: none"><li>*施工基面に均一にプライマーを塗布する(標準塗布量 <math>0.36 \text{ kg/m}^2</math> (<math>0.33 \text{ kg/m}^2</math>))</li><li>*気温が <math>4^\circ\text{C}</math> 以上で使用してください。</li><li>*プライマーは十分に乾燥しないうちにポリフレックス#1 を使用すると、接着力が弱くなります。</li><li>*プライマーを早く乾かそうとして火を使うことはしないで下さい。</li></ul> |
| ポリフレックス#1 注入工  | <ul style="list-style-type: none"><li>*加熱されたポリフレックス#1 (加熱温度 <math>193^\circ\text{C} \sim 204^\circ\text{C}</math>) を施工面に充填する。</li><li>*スキージーを使い均します。</li></ul>   |
| デタック骨材散布       | <ul style="list-style-type: none"><li>*<math>93^\circ\text{C} \sim 121^\circ\text{C}</math> に下がってから、デタック骨材を散布して下さい。推奨する表面温度より低くなった場合、トーチなどで熱して下さい。</li><li>*骨材使用量は <math>1 \text{ m}^2</math> 当たり約 <math>3 \text{ kg}</math> 使用</li><li>*余分な骨材は乾いた状態で清潔、不純物混入していない状態でしたら、再利用できます。</li></ul>          |
| 交通開放           | <ul style="list-style-type: none"><li>*ポリフレックス#1 の表面温度が <math>40^\circ\text{C}</math> 以下になれば交通開放して下さい。</li><li>*<math>40^\circ\text{C}</math> 以下になかなか冷めない場合、散水して下さい。</li></ul>   |

# 除草シール工法施工手順



①除草作業



②除草作業除草したところを再度カッターを使い、切削する



③清掃作業  
バーナーなどで乾燥後、ブラシで箇所を磨き、掃除機で砂などを吸い取る。



④プライマー塗布作業  
プライマーを塗布する。(塗布量  $0.36 \frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$  (0.33 kg) /  $\text{m}^2$ )



⑤シールを充填  
193°C~203°Cに温めたシール材を充填し、コテで均す。



⑥除草シールした箇所としていない箇所